

平成27年 秋の読書週間行事

読書週間に合わせて亀田図書館で実施した
たくさんの行事をご紹介します。



○文化講演会「『おくのほそ道』越後路の旅」

11月1日(日)午後2時から、江南区文化会館多目的ルームで、江南区沢海在住の歴史作家金森敦子さんを講師にお迎えしました。

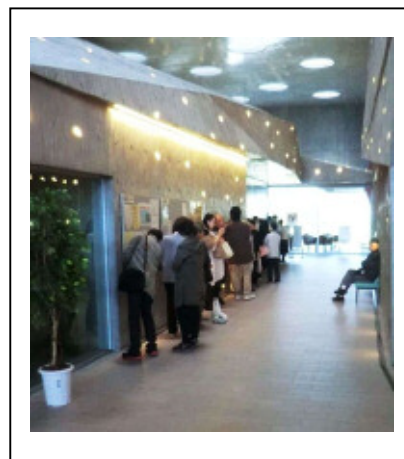
『おくのほそ道』ではあまり触れられていない、松尾芭蕉と河合曾良の、新潟県内の旅の様子を、『曾良旅日記』等を参考にしてひも解きました。



キャンセル待ちが出る程の人気で満員となった会場の中、大変興味深い講演に参加者は熱心に耳を傾けていました。

●保存期限の切れた雑誌をお譲りします

10月25日(日)午前9時30分から、江南区文化会館多目的ホールで、亀田図書館や江南区地区図書室で購入した、2012年以前の雑誌などを配布しました。



開場前から60名程の長い行列ができ130名を超える方々が参加しました。

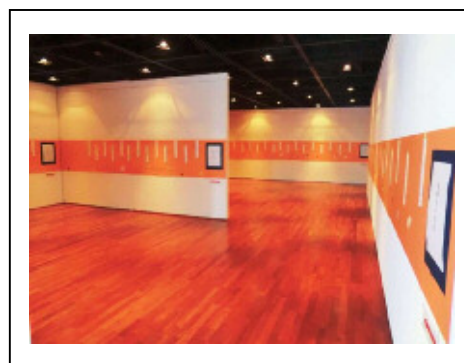
用意した約1000冊は、開始1時間でほぼなくなる程の盛況でした。

○中学生による俳句作品展示会

11月5日(木)から26日(木)まで、江南区郷土資料館展示室で、中学生の皆さんが詠んだ俳句作品99点を展示しました。

俳句とは縁の深い江南区にある、大江山・曾野木・両川・横越・亀田・亀田西中学校のご協力をいただきました。

期間中は約1060人の方々のご来場がありました。



●おはなしのじかんスペシャル

10月から11月までの土・日を中心に亀田図書館 おはなしの部屋で、

「おはなしのじかんスペシャル」を実施しました。

絵本の読み聞かせや紙芝居などで、多くの方々が楽しみました。



ボランティアや職員により、合計8回開催し、のべ100名程のお子さんと保護者の方々のご参加がありました。

○なじらね?この本

10月24日(土)から12月1日(火)まで、亀田図書館入り口わきで、おすすめしたい本を来館者の皆さんから紹介していただきました。

カラフルな台紙には、思い思いのイラストが描かれました。

合計80冊のおすすめの本を館内に掲示し、気に入った方からピンク色の「いいね!」シールを貼っていただきました。



資料の取扱いについてのお願い

- 雪のシーズンになります。カバンやビニール袋で本や雑誌が濡れないようにご配慮をお願いします。
- 書き込みや切りぬきは絶対にしないでください。
誤ってページを切ってしまった場合は、図書館で修繕します。テープ等を貼らずにお持ちください。
- 亀田図書館がCD・DVDの取扱いを始めてから数年たち盤面のキズや中心部のヒビ割れ等の痛みが進んでいます。修繕や入替を進めていますが、丁寧な取扱いをお願いします。
- DVDは図書館での貸出の許諾を得たものを購入しているため、市販のものより高額です。割ったり傷つけたため視聴できなくなった資料は、現金賠償になる場合があります。

村山協議会委員よりおすすめの本を紹介していただきました

『満願』 米澤 穂信／著 新潮社



本作品は、「夜警」「死人宿」「柘榴」「万灯」「関守」「満願」の6編が収録された短編集。

最初の短編「夜警」は、新人警察官が、ある事件の発生時を利用して拳銃の弾丸を失くした不始末をつける物語。新人警察官は、芝居を打って拳銃を発砲するものの、空砲だったため反対に犯人に刺殺されてしまう。

それぞれの短編は文章が短く、気持ちよく読み進めることができる。

その一方で、次から次へ、奥へ奥へと興味を引き込んでゆくサスペンス作品。

各短編には、「拳銃」「遺書」「自作自演」「コレラ」「道祖神」「掛軸」という、物語のカギとなる言葉がある。

物語の顛末は読者にゆだね、自由な想像を期待させる。そんな余韻を残してくれる、良い作品である。

「かめだ図書館だより」第11号（年4回発行）

編集・発行 新潟市立亀田図書館（新潟市江南区文化会館内）

新潟市江南区茅野山3-1-14

電話 025(382)4696

FAX 025(381)8003

メールアドレス kameda.cl@city.niigata.lg.jp

